

会 議 録

会議の名称	第2回 本庄市総合振興計画審議会
開催日時	令和4年6月1日(水) 午前 ・午後 1時30分から 午前 ・午後 4時50分まで
開催場所	本庄市役所6階 大会議室
出席者	委員：広瀬 伸一会長、岩上 高男副会長、 清水 静子委員、矢野間 規委員、内田 英亮委員、 鳥羽 孝夫委員、高橋 茂雄委員、芦澤 吉一委員、 戸谷 清一委員、江原 貞治委員、明堂 純子委員、 小田島 寛之委員、山田 英希委員、古閑 政委員、 杉原 朋子委員、高橋 勉委員、茂木 達郎委員 事務局：【企画財政部】内田部長【総務部】駒澤部長 【議会事務局】境野事務局長 【教育委員会事務局】高橋事務局長、笠原参事 【企画課】橋本課長、日野課長補佐、千田主査
欠席者	委員：小暮 博光委員、野津 喬委員、上原 泰二委員
議題 (次第)	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (審議事項) 第1号 総合振興計画後期基本計画(素案)について (2. 教育文化分野) (資料1) 第2号 総合振興計画後期基本計画(素案)について (6. 行財政経営分野) (資料2) 第3号 総合振興計画序論(素案)について (資料3) 4 その他 5 閉 会

様式

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本庄市総合振興計画審議会委員名簿 ・第2回本庄市総合振興計画審議会 席次表 ・第2回本庄市総合振興計画審議会 次第 ・資料1 総合振興計画後期基本計画（素案）について （2. 教育文化分野） ・資料2 総合振興計画後期基本計画（素案）について （6. 行財政経営分野） ・資料3 総合振興計画序論（素案）について ・別紙1 本庄市転入者数及び転出者数の状況 ・別紙2 第2回本庄市総合振興計画審議会 資料正誤表
<p>その他 特記事項</p>	
<p>主管課</p>	<p>企画財政部企画課</p>

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日はお忙しい中、第2回 本庄市総合振興計画審議会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の橋本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、入室時の検温等にご協力いただき、誠にありがとうございました。また、室内の換気のため一部の扉や窓を開放しておりますのでご了承ください。体調が優れない場合は、職員までお声かけください。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、報告と配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、本日、小暮 博光委員、野津 喬委員、上原 泰二委員より、欠席のご連絡を受けておりますので、ご報告いたします。</p> <p>また、「本庄市総合振興計画審議会規則」第2条の規定により本会議は公開とします。同規則第3条の規定により、本会議の開催につきまして市ホームページで公表し、傍聴人の定員について定員数10名としてご案内したところ、本日の傍聴希望者はございませんでした。</p> <p>また、本庄ケーブルテレビ様より撮影の申出がありました。なお会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただいています。また会議の様子を写真撮影させていただきます。計画策定にあたり、市ホームページ等に掲載させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。</p> <p>(配付資料の確認)</p> <p>これより会議を開催させていただきます。</p> <p>ここからは、次第に沿って進めさせていただきます。はじめに、本審議会の会長である広瀬会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。</p> <p>広瀬会長、よろしくお願いいたします。</p>
広瀬会長	<p>皆さん、こんにちは。本日は第2回本庄市総合振興計画審議会をご案内申し上げたところ、お忙しい中ご参集賜り、ありがとうございます。</p>

	<p>ございます。本日は、総合振興計画後期基本計画（素案）について、教育文化分野、そして行財政経営分野、そして序論について審議していただくわけでございますが、皆様方におかれましては忌憚のないご意見をいただく中で慎重審議を賜りますようお願いし、簡単ではございますが会長としてのあいさつといたします。何卒よろしくお願いいいたします。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>ありがとうございました。次に進めさせていただく前に、今回初めて出席される委員の方がいらっしゃいますので、ここで簡単に自己紹介をいただきたいと思います。</p> <p>(委員自己紹介)</p> <p>皆様ありがとうございました。ここで、改めて「本庄市総合振興計画審議会」について説明させていただきます。</p> <p>「本庄市総合振興計画審議会」は本庄市総合振興計画審議会条例に基づき、「本庄市総合振興計画」の策定に関する事項について調査及び審議するため、設置されております。</p> <p>この「本庄市総合振興計画」は、本市の将来を長期的な視点に立って見通し、行政経営を総合的かつ計画的に行うために策定するもので、市の最上位計画に位置付けられるものです。本市の将来像や政策大綱等を示す10年間の基本構想、分野ごとに施策を示す5年間の基本計画、具体的な事業計画である2年間の実施計画の3層より構成されます。</p> <p>今回は、このうち基本計画部分の前期基本計画の計画期間が今年度で終了となることから、総合的かつ計画的なまちづくりを引き続き推進するため、前期基本計画の検証結果等を踏まえ、新たに来年度からの5年間の計画期間とする総合振興計画後期基本計画の策定を進めているものでございます。</p> <p>今回の審議会では、この総合振興計画後期基本計画の施策大綱6分野のうち、2分野「教育文化分野」、「行財政経営分野」及び計画の導入部分である「序論」につきまして、ご審議いただくものでございます。</p> <p>それでは、次第の3「議題」に入らせていただきます。議事の進行につきましては、「本庄市総合振興計画審議会条例第6条第1項」の規定により、会長が議長となってしまうこととなっております。これからの議事の進行につきましては、広瀬会長にお願いしたいと思います。広瀬会長、よろしくお願いいいたします。</p>

広瀬会長	<p>それでは会長が会議の議長を行うということでございますので、この後の議題につきまして、議事の進行を私が務めさせていただきます。皆様方におかれましては会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、前回の審議会の中でいただいた質問について、本日お答えすることとなっていました事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (企画課主査)	<ul style="list-style-type: none"> ・本庄市転入者数及び転出者数の状況について (資料に基づき説明)
広瀬会長	<p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>はじめに、審議事項「第1号 総合振興計画後期基本計画（素案）について 2. 教育文化分野」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (企画課主査)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合振興計画後期基本計画（素案）について（2. 教育文化分野） (資料に基づき説明)
広瀬会長	<p>ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いします。</p>
鳥羽委員	<p>私は旭地区の学校運営協議会の委員になっております。その中で、朝15分ほど行っている読み聞かせ事業について、非常に良い制度だと聞いております。保護者の方も長くやっておられます。基本計画の中に、この素晴らしい事業について記載すると、保護者の方も含めて良いと思います。どの項目に書くのかは分かりませんが、朝の自習の時に15分ほど昔話や本の読み聞かせを月に一度やっておられます。基本計画に記載していただくと励みになると思います。</p>
事務局 (教育委員会事務局長)	<p>ただいまの朝の読み聞かせについては、今回の計画の中には入っていないのですが、該当する項目は大項目2「豊かな心と健やかな体の育成」のページになると思います。具体的に入れられるかは検討させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
広瀬会長	<p>ほかに質問がありましたらどうぞ。</p>

内田委員	<p>まず1ページの現況と課題で記載のある「本庄型授業スタンダード」とは何が本庄型なのか教えていただきたいです。その上の「経験したことの無い未知なる課題に対応できる力」は具体的にどんな力なのか教えていただければと思います。</p> <p>次に、めざす姿のところで「自ら学び主体的に判断・行動し」とありますが、成果指標を見てもどの項目でこれを評価するのか分からなかったので教えてください。下の赤字の施策中項目で、「ICTを活用した指導方法の工夫改善」とありますが、具体的にどのようにするのか計画があれば教えてください。</p> <p>次の3ページのめざす姿で「一人一人が自分らしさを発揮し」というのが分かりにくいので、どういう考えかお答えください。</p> <p>4ページ中項目4「道徳教育の充実」のところで、無言膝つき清掃について以前から取り組んでいるところですが、自己有用感と膝つき清掃にどういう関係があるのか教えていただきたいです。</p> <p>6ページの説明の中で、「避難所になっている小中学校があるので全ての利用者にとって安全安心」という話がありましたが、地域の方の声を聞くのが大事だと思います。協働の取組のところで記載がありませんので、避難所となってどういうところが不便なのか、どういう設備が今足りないのかというのは協働でやった方が良いのではないかと思います。その辺の考えについてお伺いします。</p> <p>7ページ大項目4「生涯学習の活発化」のめざす姿で、週末等の講座を増やすと書いてあります。具体的にどういう講座を考えているのか、指標では市民総合大学についてしか記載がないので、週末に市民総合大学の講座を増やすことを考えているのか、その辺の整合性についてお聞かせください。また、図書館について、若い世代が学習・交流の場として活用していますとありますが、若い世代が学習・交流の場として活用しているかどうか、「図書館の利用者数」でどのように測っているのか、考えをお聞かせいただければと思います。</p> <p>9ページで、先ほどは説明がなかったのですが、主な事業一覧のところで「活動拠点」「居場所」という記載が増えました。これの説明をお願いします。</p>
------	---

<p>事務局 (教育委員会 事務局長)</p>	<p>まず1 ページ目の「本庄型授業スタンダード」というのはどのようなものかというご質問について説明をさせていただきます。こちらについては、現行計画ではアクティブラーニングとして書いてあります。能動的な学習のことですが、この要素を取り入れまして本庄型授業スタンダードとしております。具体的には子どもが自ら考え、判断・行動し、仲間と話し合い、協力して課題の解決をする授業スタイルとなっております。実際の授業においては、課題について先生がめあて、見通しを示し、子どもたちが話し合っ て学び合い、自分で考えて学ぶ時もあります、そういった形で学び合いをし、まとめ、最後に振り返るといった形の授業を本庄型授業スタンダードということで本市では呼んでおり、授業改善をしております。</p> <p>次に、未知なる課題とはどのようなものかというお話です。具体的にどのようなものかとなりますと、例えばコロナウイルス等が未知なもので、そういった際に自ら考えて行動できるようになることを考えております。</p> <p>また、同じページのめざす姿「自ら学び主体的に判断・行動し、よりよく問題解決できる」については、「確かな学力」を詳しく説明しているものです。具体的には、教育大綱の中で実際に使っている内容で、重点施策というものがあります。その中で、自ら考え判断し、表現することにより問題解決する確かな学力という表現をしておりますので、確かな学力について詳しく記述させていただいたということでございます。成果指標については、確かな学力ということで、上に載っている学力調査やそういった項目がそれに該当するものであると考えております。</p> <p>四点目の質問で、施策中項目1のICTを活用した指導内容の工夫改善について、どのように誰がやるのかという質問についてです。これは、先生が子どもたちにICTを活用して指導の一助となる指導方法を工夫するというところで、研修や支援員の力も借りて行っています。</p> <p>五点目の質問で、3 ページのめざす姿で新規に追加した「児童生徒一人一人が自分らしさを発揮し、「明日また行きたい」と思える学校となっています」の自分らしさの発揮についてです。これは、やはり子どもたちが明日もまた学校に行きたいと思うには自</p>
---------------------------------	---

	<p>分らしく輝いていることから、まずは学校に行きたいと思うことに繋がるということで、入れさせていただきました。</p> <p>4ページの無言膝つき清掃が自己有用感につながってくるについてですが、清掃やボランティアをすることにより、お互いがたたえ合うことで自己有用感も高まるものと考えております。</p> <p>次の質問、6ページの学校施設の整備充実という部分で、避難所の想定をしたことについてです。これは、避難に関する担当部署がありますので、別途検討させていただければと思います。</p> <p>次の八点目の質問、7ページのめざす姿「週末等の講座が増える」というところで、「夜間」を削除したのは、夜間に講座を開催してもなかなか参加していただけないということで、削除させていただきました。週末等の講座ということで、例えば市民総合大学等の講座を週末等にできるものは増やしていきたいということでございます。</p> <p>続きまして九点目の質問、図書館についてですが、小学生や就学前の子どもたちにはたくさん使っていただいています。若い世代と言いましても、中高生の利用が少ないということで、ここでは課題として挙げております。</p> <p>十点目の質問、9ページ「青少年の健全育成」のところの活動拠点、居場所についての説明ですが、生涯学習課で実施しております「学ぼう舎」というものがこれに該当します。令和2年度から始めたもので、8ページ中項目4「青少年教育の充実」にも出てまいります。安全安心な子どもの活動拠点で子どもたちの居場所づくりを行うという事業で「学ぼう舎」を令和2年度から実施しております。具体的には、隔週土曜日の午前中になりますが、公民館等を利用して学習、あるいは様々な体験をし、居場所づくりを行っているものでございます。</p>
広瀬会長	ありがとうございます。
内田委員	<p>お答え、ありがとうございました。2回目は質問というより意見としてご参考にお話しさせていただきます。</p> <p>まず1ページの本庄型授業スタンダードの件ですが、ご説明いただいたアクティブラーニングの本庄型ということだったと思います。ただ、鍵括弧で「本庄型」と銘打ってあります。今の説明では、普通のアクティブラーニングの説明なだけなので、何かこれが本庄型というのがないと分からないので、ここが特徴的なもの</p>

	<p>だというのを見出して展開していただくと良いのかなと思っています。</p> <p>また、ICTの指導方法の工夫改善について、教員の年代にもよると思いますが、月に何回やるというのを設けていただくと推進されていくのではないかと思います。</p> <p>3ページ「豊かな心と健やかな体の育成」のところで、「自分らしさを発揮し」という部分をお聞きしました。多様な児童生徒がいて、輝くことがすべてではないとか、キラキラしていることが良いことだというように取られては嫌だなと思いました。特に目立たずに、何もなく過ごせることが良いのだという子もいますので、その辺の多様性を考えていただきながら文言を入れないと、全ての児童生徒が毎日楽しくて仕方がなくて、華やかな生活をしなければいけないのではないかという考え方にも見えますので、私は前の書きの方が良いかと思いました。これは新しいところなので、今の考え方なのかもしれませんが気になりました。</p> <p>それに、関連するSDGsとして、ジェンダー平等が入っています。おそらく人権のところになると思いますが、何か一つくらいその辺の記載があっても良いと個人的には思います。</p> <p>また、図書館についての説明をいただきました。事務局長もご覧になったことがあると思いますが、はにぼんプラザなどを見ると、階段まで使って若者、特に高校生が勉強している様子が見受けられます。図書館もしっかり整備をしてあげれば、距離的にはそんなに遠い場所ではありませんので、利用者も増えるのではないかと思います。その辺も考えていながら総合的に対策をしていただければ、図書館利用も増えるかなと思っています。</p>
<p>事務局 (教育委員会 事務局長)</p>	<p>まず一点目、本庄型授業スタンダードの特徴ということですが、専門の先生の協力をいただいて、こういった形の授業スタイルを市として行ってきたということで、確かに、他と違いがあるのかというと、特徴としてこれというものが無いのが現状です。</p> <p>二点目、ICTの関係で、確かに先生の年代も様々ではありますが、しっかりと指導できるのかとご指摘がございました。こちらについては、確かに先生の間でも得意不得意があります。これについては、ICT支援員のほか、得意な先生もおり、苦手な先生の手伝いもしています。指標については、各学校でどれくらい行っているか調査もしておりますので、それによって状況が把握</p>

	<p>できていくと思います。そういった数値を挙げていくことで、活路が見えて進んでいくものと考えております。</p> <p>次に、3ページのめざす姿「自分らしさ」の部分ですが、確かにおっしゃる通り、華やかでなくとも楽しく学校に行くということは実際にあることだと思います。ただ、「自分から行きたい」と思いながら行くことで、自分らしさが発揮できるのではないかと思います、そのような表現とさせていただきました。</p> <p>また、ジェンダーについての記載については検討させていただければと思います。</p> <p>図書館について、はにぼんプラザで高校生が勉強を一生懸命しているというお話でございますが、図書館でも3階で勉強できるスペースもあります。それを活用できるような形で周知するなど、利用者も増えるようにしたいと考えております。</p>
広瀬会長	ありがとうございます。
明堂委員	<p>5ページのところで伺いたいのですが、最近、部活動の指導に学校の先生たちは体力や時間を取られて大変だということで、中学校の部活動は生徒にとっても比重が重いものです。5ページでは、部活動支援員の記載があり、本庄市では支援員を入れていると思うのですが、実態はどうか、これからどうするのか、お聞きしたいと思います。文化部でも同様です。</p>
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>学校の部活動の指導員の状況を説明させていただきます。部活動指導員は、会計年度任用職員3人が中学校に入っております。部活動については、これまでお手伝いしていただいた方もそのようなのですが、部活動は学校活動の一環ということで、経験を活かしながら指導をしていただいています。学校の先生を経験した方にも指導員をやっていただいています。部活動にもいろいろあり、野球、サッカー、バスケなどいろいろな競技がありますが、学校の先生も自分の経験したことのない種目の顧問を任されるケースもありますので、そういったところに指導員を充てていくということで進めております。</p> <p>今後のことになると、今、国で部活動の地域移行が進められており、昨日もスポーツ庁の有識者会議で提言がなされたという報道がありました。部活動につきましては令和5年度以降、段階的に地域に委託していくことで、国では提言がなされており、</p>

	<p>今後、そういった検討をしていくことになるかと考えております。休日については、民間、地域移行していくということで来年度以降進めていきたいと考えております。文化部についても、有識者会議で検討しているということで、こちらにもまた方針が出るものかと考えております。文化部につきましては、現在部活動指導員が入っておりません。現状としては、運動部ということになっております。指導員の方を探すことの難しさを感じております。部活動につきましては、指導員を充てられるところについては充てている状況です。</p>
明堂委員	<p>スポーツ人材とか文化人材とか、本庄市では部活動の指導に入れるような人材育成も少し積極的に、意図をもってやっていただけるのかということと、もう一つは先生の資質の向上についても書いてありますが、部活動への関わり方でいろんなことが変わってくるのではないかと思います。ぜひ人材育成、そしてそれをどういうシステムをもってやるのか、市内4中学校の支援としては少ないのではないかと思います。補助の先生や地域の人がいないと回らない、非常に偶然に頼っているのではないかという気がいたします。</p> <p>国もそういう方針をしっかりと出して、本庄市も積極的にそういうことは取り組んでいただきたいと思います。教育の改善の項目にしっかりと入れていただいた方が良いのではないかなと思います。</p> <p>部活動の比重が重い割にテーマに入れられていないのが不安に思いました。お考えをお伺いできればと思います。</p>
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>部活動指導の人材育成のお話でございます。資料12ページをご覧ください。中項目2「スポーツ・レクリエーション団体の支援」の右側に、総合型地域スポーツクラブ等の支援、様々な組織の強化というところで、運動部の支援をしていただけるような人材の育成に関わってまいりたいと考えております。</p>
広瀬会長	<p>よろしいですか。運動部だけですか、文化部についてはよろしいですか。</p>
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>失礼いたしました。文化部につきましては、様々な文化関係の指導者の育成については課題だと思っておりますので、こちらについてはまた検討していきたいと思っております。</p>

広瀬会長	他にありますか。
芦澤委員	<p>私は意見というより、要望が入ってくれて嬉しいなというところでは。8ページ「青少年教育の充実」のところ、「居場所」という文言が入りました。市で居場所をどのように捉えているかは分かりませんが、ほっとできる場所というように私自身は考えております。その、ほっとできる場所が、今の子どもたちを見るとどこにもないと思います。自分の部屋、家庭、インターネット空間、地域、学校、職場など、そういうところに居場所がない子どもが増えてきています。そして、内閣府の資料を見ますと、自己肯定感や居場所の数が多いほど上がる。今の充実感も、将来の希望も高くなります。チャレンジ精神も高くなる、社会貢献も高くなります。これが、内閣府の資料の中にあります。その「居場所」という言葉が入ってとても嬉しかったです。やはり、これを真剣に考えて子どもたちの居場所づくりをしていかなければいけないのかなと思っておりました。</p> <p>内閣府によると、多様な居場所という言葉も入っておりました。「学ぼう舎」だけではなく、多くの居場所を作ろうということが大切なのかなと思っておりました。</p> <p>この中で出てきたのがウェルビーイング、幸福度、その観点からも考えていかないといけないと思います。身体的な幸福度で見ると日本は1位ですが、精神的な幸福度を見ると38か国中の37位なのです。社会的スキルでは、すぐに友達ができる15歳の割合は69.1%で、38か国中37位です。居場所というものがあると、子どもたちはずいぶん救われる面がありますので、その辺も力を入れてやっていければと思っております。</p>
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>今回、居場所づくりということで令和2年度から取り組ませていただいています。今後、これについてはもっと充実していきたいということで考えております。</p> <p>これにつきましては、5ページ「教育環境の整備」の現況と課題の最後のところで加筆しています。小中学校の範囲になってしましますが、子どもたち、保護者、学校、地域などがそれぞれの立場から、児童生徒の放課後の過ごし方について、これについての受け皿ということで整備が必要かと考えておりますので、そういった意味で居場所の検討をしていきたいと、居場所の充実という点で検討していきたいと考えております。</p>

広瀬会長	よろしいでしょうか。時間も、30分予定より過ぎてしまっていますので、そろそろまとめていきたいと思いますが、何か皆さんありますか。よろしいでしょうか。
茂木委員	3ページの現況と課題を見ると、子どもたちの体力合計点は全国平均より数ポイント高いとあります。1ページを見ますと、同じく現況と課題で、学力の全国平均を数ポイント下回っていて学力の向上が大きな課題であるとあります。確かな学力の育成ということですが、何か目標がない限り、どうするのかということになります。例えば、全国平均からどのくらい低いか分かりませんが、全国平均を超えることを目標にすれば、市の教育の魅力が実際に訴えられると思います。数字を入れないのか、あえて入れないのかということです。
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>学力の関係で、全国平均、県平均というお話だと思います。学力平均は全国のものど県のものがありまして、参考に全国のもので紹介しますと、小学校6年生で国語が全国平均で64.7、本庄市は62、これは正答率での数字ですので2.7ポイントほど本庄市は低くなっています。6年生の算数では70.2に対しまして市が67ということで3ポイントほど低くなっています。中学校3年生の国語でも64.6に対しまして市が59ということで5ポイントほど低くなっています。数学につきましても57.2に対しまして本庄市は50ということで7ポイントほど低いというのが現状になっています。</p> <p>こちらにつきましては課題であると認識しておりますが、目標としては県平均の方が目標になるのかと思います。学力向上に取り組んでいる中で、成果指標でそういったところを示していきたいと思っております。目標としては考えておりますけれども、まずは成果指標を上げていくということで進めていきたいと考えております。</p>
広瀬会長	よろしいでしょうか。
茂木委員	よろしく願いいたします。
杉原委員	12ページに「体育施設に対する多種多様なスポーツ・レクリエーションの利用要望があり、既存の体育施設を利用して行えるスポーツ・レクリエーションを増やしていくことも必要です」とあります。これはすごく良いことなのですが、「市民一人1スポー

	<p>ツが定着し、健康で生きがいを持った市民が増えています」というのは、本当なのでしょう。私には信じがたいです。体育施設はありますが、平日にできる人は本当に限られていると思います。共働きの家庭が多いので、女性でも土曜日か日曜日になりますが、日曜日は家族と一緒に過ごしたいということで土曜日の利用が多いのです。そうすると、土曜日は学校の行事やイベント、市のイベントが入っていると、働くお母さんたちが土曜日に使えない、日曜日に使えないとなります。体育施設はありますが、市民1スポーツが本当に定着しているのか、非常に疑問です。これは何か統計でもあるのでしょうか。</p>
<p>事務局 (教育委員会 事務局長)</p>	<p>体育館が休みの日になかなか取れないというお話ですが、シルクドームとエコピアがそれぞれ本庄地域と児玉地域に一つずつあります。予約につきましては、使いたい月の2か月前に予約ができることになっております。市としても体育施設をなるべくたくさんの方に使っていただきたいということから、団体申込の方が先に予約出来るようになっております。集まって団体ということでやっていただければ、2か月前の初日から予約できるということになっております。個人で申し込まれる場合には、2か月前の8日からということで若干の違いがありますが、たくさんの方に利用していただきたいことから団体利用を優先している現状があります。</p> <p>「市民一人1スポーツが定着し」については、さまざまなスポーツ教室もありますので、そちらに参加していただいて、一人1スポーツを定着していきたいということでの記述になっております。</p> <p>体育館等の予約についてはそういった状況でございますので、なるべく団体登録をして使っていただくのがありがたいというのが現状です。</p>
<p>杉原委員</p>	<p>お言葉を返すようですけど、団体登録をしております、1日から7日までの間は登録団体が優先的に確保できるということで、2か月前に予約しております。しかしながら、やはり体育施設はエコピアとシルクドームだけなので、市の行事やバスケットの大会やバレーボールの大会、高校生、中学生の大会が優先して土日入るわけです。そうすると、土日で働くお母さんたちは全然できなくて、1か月使えないということが、6月と11月、年</p>

	<p>に2か月あります。学校の生徒の大会を優先するのはもちろん理解しておりますけれど、施設があります、一人1スポーツですということ、きれいな言葉でまとめているのかというのは疑問に思います。</p> <p>古い話ですが、前の市民体育館を壊して手頃な施設がなくなりました。立派な体育施設かもしれませんが、それがあから良いというものではないと思います。</p> <p>それと、お母さんの健康は、スポーツ、栄養、食事といったことが大事なので、若い頃からスポーツに慣れ親しむお母さんたちが増えてほしいというのが希望です。</p> <p>大きなものがあれば良いのではないということを知っていただきたいということ、一人1スポーツという言葉は良いけれども、どうなのでしょう。</p> <p>あまりよそのことは言いたくないのですが、公民館でレクリエーションの部屋がある市があります。土曜日・日曜日も使えないときは隣の市の公民館を借りに行くこともあります。費用は2倍かかります。公民館でレクリエーション施設があると、すごく手軽で、気軽に車に乗れない方も自転車でちょっと行けるといところで、スポーツやレクリエーションができるというメリットはあります。学校の体育館も良いけれども、学校はやはり狭いですし、スポーツによっては天井が低くて使えないということもありますので、一人1スポーツを掲げるならば施設の環境を整えていただきたいと思います。一人1スポーツには個人的に違和感があります。</p>
<p>事務局 (教育委員会 事務局長)</p>	<p>施設を増やすということは、なかなか難しい現状があります。お話のありました市民体育館は、老朽化が進み危険が伴うということで解体をさせていただいた状況もあります。また、公民館の中にレクリエーション施設があるところもあるというお話ですが、施設という点では今この場でお答えできることはできませんので、そういった意見があるということで承らせていただきたいと思います。</p> <p>一人1スポーツにつきましては、様々な体験を通してスポーツ教室等で参加していただいて、将来的に一人1スポーツ定着というところを目標として考えていきたいと思っています。</p>

<p>広瀬会長</p>	<p>よろしいですか。他にはございませんか。提案のありました中では研究、検討していきたいというものもありました。それにつきましては、また次回報告ということにいたしまして、本日ご提案いただきました本案につきましては、決定とさせていただきますよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは本案につきましては、決定とさせていただきます。ここで、休憩とさせていただきます。開始時間を午後3時5分といたします。</p> <p>(休憩)</p> <p>それでは再開いたします。続きまして審議事項「第2号総合振興計画後期基本計画(素案)について 6. 行財政経営分野)の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (企画課主査)</p>	<p>・審議事項第2号総合振興計画後期基本計画(素案)について (6. 行財政経営分野) (資料に基づき説明)</p>
<p>広瀬会長</p>	<p>ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見ご質問がありましたらお願いいたします。時間もおしておりますので、簡潔にお願いいたします。</p>
<p>鳥羽委員</p>	<p>デジタル化の推進という形でこれから多くのことをやっていかねばならないと思います。DX対応です。ここに書いてあるのですが、行政のデジタル化推進とともに、市民に優しいデジタル化の推進をぜひ進めていただければありがたいと思っています。何がどう変わっていくのか丁寧に説明していただければありがたいと思っています。これからの課題になると思いますが、その辺を進めていただければと思います。</p> <p>また、広報については、非常に中身も分かりやすく、丁寧にやってもらっています。工夫しながら作成されております。ですが、紙媒体をいつまでも変わりなく発行していくものなのか、当然ホームページもありますので、有効に、当然紙媒体も必要ですが、今後の方向性の中でどのように考えていくのかと思いました。</p> <p>小島南自治会なのですが、今回電子回覧を6月からスタートしました。毎月1回ないし2回、回覧をしているのですが、それを</p>

	<p>ダウンロードしてサーバーに載せて、スマホで回覧が閲覧できる、だいたい2回くらい閲覧できるようにしました。こういった取組も一つのDX対応かなと思っております。アパートなどではほとんど回覧できないのが実態です。電子回覧を使って閲覧できるのも一つの施策と思っています。</p> <p>もう一つこの中にもいいのかなと思うのは、押印です。ハンコが必要ですか。前も聞いたような気がするのですが、大きな指針として、ハンコも日本の文化として必要ですが、指針の中ではハンコは、行政としてどのように考えているのか、部署ごとで統一されているかとは思っていますが、全体として指針の中ではどのように推進していくのか回答が必要かなと思いました。</p>
<p>事務局 (総務部長)</p>	<p>行政のデジタル化ということで市民に優しいデジタル化の推進、丁寧な説明ということでご質問を頂戴しました。まずデジタル化を推進している中で皆さんが使えないといけないということがありまして、一つ例に挙げさせていただくとすれば、例えばスマホが使えない方にはそのような講座も始めております。そういった講座を通して、少しずつでも皆さんが使えるような形になっていけば良いなということで、こうした取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>2点目のご質問、広報について中身が分かりやすく丁寧であるが、紙媒体はどうかということでございました。こちらは、おそらく全国的な問題で、どの自治体も悩んでいるところだと思います。そういった中で、小島南自治会が電子回覧という先進的な取組をされているということで、正直驚きました。こうした中で、常に広報課で部数の調整等について、自治会長さんを通じて行っています。そういうところを判断しながら部数を減らしていくという取組に加えて、今日いただいた意見を広報課の方にもお伝えしながら。市としても研究していくような内容になるかと思えます。</p> <p>最後のご質問ですが、押印について、いつの間にか消えた日本の文化をどのように考えていくかということでございました。全体的に市の指針としましては、ご承知の通り、押印をなくしようということで、コロナの関係もあろうかと思いますが、色々な対策の中で、実際に令和3年度までに市の方で必要な押印の見直しについて全庁的に取り組みました。市民目線から見て完全か</p>

	<p>どうかというのはございますが、不要なものについてはすでになくしておりますので、そういったことから今回の計画では具体的なことが載っていないという状況でございます。</p>
広瀬会長	<p>よろしいでしょうか、他にございますか。</p>
内田委員	<p>1ページの「市政情報の提供の充実」のところですが、まず皆さんもお感じかと思いますが、リニューアル後のホームページが見にくいということがあります。おしゃれには感じるのですが、情報が入りにくく、それと下のはにぼんが邪魔なのです。企業のページなどでは、あのようなものは消せるのですが、はにぼんは消えません。色々なお話をもらっているのですが、本当に見たくなるページというのは、指標の更新件数というところになってくるものだと思います。写真も定期的に変わりますし、掲示板機能もついて、そういったところは非常に良いと思うのですが、見たくなるページにするというのも大事だと思いますので、その辺はどう考えているのかお伺いします。</p> <p>また、「市民の声」というところに関わってくるのですが、市長からSNSによって様々な情報が出ています。そういったものをやっている方には見えるのだと思います。ただ、「ワクチンの予約すら危ない状況でした」と市民の声にあるように、情報が入ってくることは非常に大事で、先ほど鳥羽委員からも紙を必要であれば残すとありました。その中で、今回の総合振興計画の策定の中で、コミュニティ放送というものが出てきています。市政情報の多角化に合わせて、コミュニティ放送が入っていることが届いていない方に対して届けることにつながるのか、リンクしているのか疑念を抱いております。コミュニティ放送で流してもらうことは、効果はゼロではないと思うのですが、その情報をもらおうとしたら朝から晩までずっと聞いていないと情報が取れないということになるし、例えば、一度聞いただけでは「そうなのか」とはならないので「今何を言ったのだろう」ということも、もう一回は聞けないので、コミュニティ放送が役に立つのか私自身分からないところがあります。その辺が、多角化を図るつもりが、本当に多角化になっているのかという気がいたします。困っている市民の声を聞くということが入ってこない、インターネットは使</p>

いません、SNSも見ません、だけど情報は取りたいという方に対し、どのようなものが具体的にあれば良いのか、掲示板が良いのか分かりませんが、困っている市民の声をしっかり聞くのが良いのではないかと私自身は思っております。

次に3ページですが、現況と課題のところで、部局間の連携の強化について記載がありますが、どのように強化していくのか疑問に感じています。それは、4ページの協働のところに関わってくるのですが、こちらもやはり窓口を含めていろんなご意見を持っている方がいると思います。例えば何でもやる「すぐやる課」のようなものがあつた方が良いのではですとか、ペアリングがあつた方が良いのではないか、そういう市民の声を聞く、あるいは公共施設の決定について指定管理者に委託するというのはどういふところが良いのではないかという、市民協働があつても良いかと思いますが、どうお考えでしょうか。

6ページ早稲田大学の関係ですが、めざす姿のところに「知的資源に恵まれた都市」という文言がありますが、ここ以外であまり見たことがありません。どこかで出しているのか、あまり聞かないので、後半に関わってきますが、メディア戦略やシティプロモーションの観点からも、この文言がどのように活かされているのかお伺いします。

8ページ、行政のデジタル化の推進に関わるのところですが、成果指標のマイナンバーカード交付率の目標値100%は絶対達成できないものですが、なぜこのような目標を設定するのかを理由を聞かせていただきたいです。あるいは、絶対にできるという取組があるのであれば、それは併せてお知らせいただければと思います。できないことを目標にするのはあまり良くないと思います。

最後に、11ページの自主性・自立性の高い財政運営のところで、メディア戦略を駆使したシティプロモーションのところについてです。この辺のメディア戦略やシティプロモーションの計画を、このようにやっていきますという考えがあればお聞かせください。協働による取組で、あえて「高校生等」と書いたというこ

	<p>とは、高校生に何かをしていただくという考えがあるかと思えますので、現状の計画をお聞かせいただければと思います。</p>
<p>事務局 (企画財政部長)</p>	<p>まずホームページ関係のご質疑でございます。見にくいというご意見、また、はにぼんが邪魔ではないかということについて、一昨年にホームページをリニューアルいたしまして、なるべく使いやすい、欲しい情報が取得しやすいという考えのもとにホームページを7年ぶりにリニューアルしたわけでございます。内田委員がおっしゃったようなご意見もいただくところではございますが、概ねホームページの内容としては好評をいただいておりますので、こちらは定期的に改修等も行う機会があるかと思えますので、ご意見につきましては、反映できるものは反映していきたいと考えております。</p> <p>二点目はコミュニティ放送の関係でございます。今回1ページの施策中項目1「広報広聴活動の充実」の中で、新たにSNS及びコミュニティ放送を追加させていただいたところでございます。コミュニティ放送を行っていく上で、少し分かりづらいという趣旨のご意見かと思えます。コミュニティ放送についてご説明させていただきますが、コミュニティ放送は国、総務省が平成4年から定めた制度です。昭和の後半に入り、国民の価値観や生活様式が変わっていく中で、県域よりも小さい地域で、放送対象も色々な多様性をもった放送が必要ではないか、という機運が高まったことを受け、総務省の方で制度を定めたものです。コミュニティ放送の内容としては、FM放送によりまして、地域の話題や行政、観光、交通など、地域に密着したきめ細やかな情報を提供することと定義がされています。</p> <p>本市におきましては、令和3年4月に「ほんじょうFM」というコミュニティ放送が開局になったわけでございます。本市では、冒頭申し上げましたコミュニティ放送の意義などを鑑みまして、まずは市政情報の多角的な発信ということで市民の皆様に広報をお伝えする媒体の一つでも広げようということで、まずは声による広報の一つ増やすということで事業化したものでございます。現在、平常時におきましては、広報ほんじょうに載りましたインフォメーションやお知らせなどを平日一日3回、決まった時間として午前8時前、12時の少し前、夕方6時少し前と、毎日</p>

定時に放送枠を確保して、紙面だけでなく声でお届けするという趣旨で行っております。コミュニティ放送の今後ですが、現在は広報の多角化という位置づけで行っておりますが、今後につきましては市役所のその他の市政情報について、こういったツールを使いまして積極的に広報以外にお伝えしなければならない部分をやっていけたらと考えております。

また、4月・5月に入りまして水道管の漏水が何件か続いています。水道管漏水による停水の情報なども、現在随時ほんじょうFMさんを通じてお伝えしているというようなことも行わせていただいております。

またもう一つ、重要なことですが、災害時におきましては、ラジオ放送はラジオをお持ちであれば停電になってもFM放送を聞けるという利点もございます。こちらは、市役所と協定を結んでおりますが、災害時の市役所からの情報等を伝達する一つの手段としても考えております。コミュニティ放送につきましては、現在こういった考えのもとに事業を進めており、後期基本計画の中にも盛り込ませていただいたところでございます。

三点目ですが、3ページの現況と課題の中にございます「部局間の連携の強化」という文言についてです。こちらの表現については、行政がこれまで各セクションを設けて事務等を行ってまいりましたが、昨今では部局間をまたがって対応しなければならないような事案がかなり増えております。こういったコロナの際などもそうですが、いち早く対応できるような形での部局間の連携のイメージをしておりまして、新しく組織を作ることではなく、迅速に対応できるような形で行っていくということをイメージしております。

四点目がブランドイメージのお話でございます。6ページの早稲田大学との施策の推進の部分でございます。めざす姿の中に「知的資源に恵まれた都市というブランドイメージ」があるということで、こちらは前回から用いている表現でございます。まさに早稲田大学による知的資源を打ち出して、ブランドのイメージとしてPRしていければと考えたところです。

続きまして、マイナンバーカードについてでございます。8ページの成果指標の中の二点目でございます。これまでは公衆Wi-Fi環境の施設数ということにしておりましたが、実はWi-Fi

	<p>F iについては、コロナ禍による臨時交付金を使いまして、市内公共施設へのW i - F i 設置が完了しましたので、指標から外させていただきました。それで、新たな指標としてマイナンバーカードを設定させていただいたところです。マイナンバーカードについては、その普及率、交付率が国から100%を目指さないというものがきておりますので、難しいというお話はございますが、設定をさせていただいたところです。</p> <p>最後に六点目、11ページになります。中項目6「まちの魅力創造」の部分でございます。こちらは今回新たに追加をさせていただいた中で、「メディア戦略を駆使したシティプロモーション」という表現をさせていただきました。また、高校生という表現も加えさせていただいております。この2点につきまして説明をさせていただきます。</p> <p>昨年度令和3年度から予算をつけておりまして、SNS等の媒体、またメディアを利用した本庄市のPRということで市をアピールする宣伝を行ってきたところでございます。今後もSNSや、YouTubeといった映像等のメディアを活用し、市ホームページ上でもそういったメディアや媒体等を載せたいという事で市内及び市外の方にプロモーション活動をしていくということで記述をさせていただいたところです。</p> <p>また高校生の記述につきましては、ご案内の通り本庄市には高校が6つ、特別支援学校高等部が1つ、合わせて高校生世代の学校が7つあります。広報課では、3年間通っていただいている高校生たちに本庄市へ愛着をもっていただいで、卒業後も本庄市に関わっていただきたいということで記載させていただきました。国の表現では関係人口という言葉になりますが、関係人口になっていただいで将来的に本庄市におせっかいをしていただければと、また本庄市に興味があれば移住をしていただきたいということで、今回、まちの魅力創造の中でプロモーション活動に含めて、特に高校生を関係人口にしていきたいという意味を含め、こちらに記載させていただきました。</p>
内田委員	<p>たくさんあるのですが、時間がないので二点だけ意見を言わせていただきます。</p> <p>最初のコミュニティFMの件ですが、ラジオというものは一方通行なので、やりました、出しましたで、ちゃんと指標で分から</p>

	<p>ないと本当に効果があったのかは全然わかりません。例えばケーブルテレビやNHKもそうですが、正時になったらニュースをやっているとか、そういう状態になればFMをつければ分かると思いますが、8時・12時・6時で、どのくらいの情報量を読んでいるのか分かりませんが、しっかりと、小出しにするのではなく、例えば毎日9時から9時半は本庄市の市政情報の時間と、そういう風にしていった方が効果がもしかしたらあるかもしれないし、その辺はしっかりと研究をしていただいて、やってみてどのようなものが良いか検証しながらやっていただくと良いのかなと思います。</p> <p>もう一点は、マイナンバーカードのところですが、やはり100%という目標は絶対に無理だと思います。他の目標設定でもこういうことはやらなくて、本庄市の児童生徒が全国学力1位になるとか、掲げるのは良いのですが、普通はそういうことはしないで、現実的な数値でこれを頑張ろうと、高すぎる目標はないのと同じで、その辺はしっかりと考えていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (企画財政部長)</p>	<p>FMにつきましては昨年の10月から、議会で説明をさせていただいてご承認をいただき、市の番組枠ということで始めさせていただいております。これでちょうど半年たちまして、ご意見にある通り、今後一方的に広報と情報を流しておくだけで良いのかというのは中でも検討しています。色々な市の関わり方があるのではないかと、また、番組を行っていただくには予算等もありますので、そういったことを総合的に検討させていただきたいと思います。</p> <p>マイナンバーカードについては先ほども説明させていただきましたが、100%はとても無理だというご意見でございますが、こちらもいったん引き取らせていただければよろしいでしょうか。検討させていただきます。</p>
<p>広瀬会長</p>	<p>他にありますか。</p>
<p>戸谷委員</p>	<p>1ページと2ページの部分につきまして、毎日ご協力をいただきましてありがとうございます。市民ニュースということで毎日やっているわけですが、毎日コロナの放送もやっております。また、広報課からお話があれば、その日のうちに夜9時から、一番乗りで放送を作らせていただいております。そういうこ</p>

	<p>とで、本庄ケーブルテレビ、ほんじょうFM放送ということで、コミュニティ放送ということで書いてはあるのですが、ぜひ本庄ケーブルテレビ、ほんじょうFM放送と具体的に名前を持ってきてもらいますと、何かにつけて市の広報に協力しているということが分かっていただけだと思います。確かに本庄ケーブルテレビは加入しないと見られない仕組みになっております。しかし、はにぽんプラザとアスピア児玉ではテレビ放送をさせていただいています。</p> <p>また、市民第1と第2チャンネルと2つあるのですが、データ放送を入れています。それは、本庄市のホームページとリンクしております。常に自動的にリンクしたものがそこから出すことができるように仕組みを作りました。開設して23年目に入りますが、日々市民の皆さんのためのニュースを一生懸命やっております。かなりの情報量を流していると思っております。入学式、卒業式についても、教育委員会の皆様とご相談をさせていただいてすべての小学校12校、中学校4校、すべての卒業式と入学式をやりました。かなりの広報活動ということで頑張っているわけでございます。そういったわけで、大変手前味噌で恐縮ですが、具体的に本庄ケーブルテレビ、ほんじょうFMラジオをということで具体的に入れていただきたいです。どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>事務局 (企画財政部長)</p>	<p>1ページの現況と課題の欄の記載、また施策中項目の記載の関係でございます。こちらは、実は現況と課題の方に本庄ケーブルテレビ様の記載がなく、2ページの主な事業一覧に記載をさせていただいております。こちらの記載の違いの理由でございますが、市が主体的に情報発信を行っているという言い方で記載をさせていただいているのが現況と課題で、広報ほんじょうホームページ、SNSということで、市の方が情報を流しますという主体をもって行っておるものを書かせていただいております。ケーブルテレビ様には市の情報を流していただいているのですが、ケーブルテレビ様に取材をいただいたうえで、ケーブルテレビ様から放送していただいている形になりますので、あえてこちらには記載はしていなかったわけです。2ページの方で、事業としては今後もケーブルテレビ様を使わせていただいで行っていくということで記載させていただいております。</p>

戸谷委員	1 ページに具体的に載せて、問題はあるのでしょうか。
事務局 (企画財政部長)	1 ページの現況と課題の中で情報発信を行っていますという書きぶりをしています。今後、市の方が積極的にケーブルテレビ様にお問い合わせをする形でいくというものであれば情報発信という位置づけで考えておりますが、現状ではなかなかそこまでいけない部分がございます。先ほどご説明させていただきました通り、主体的に行っているかという書きぶりでの整理となりますので、1 ページに書くのは主体的ではないので書けないという整理にさせていただきたいと思います。
戸谷委員	確かに、全てというものではないのですが、こういったことを広報してほしいとご依頼を受けた時もあると思うのですが、いかがでしょうか。
事務局 (企画財政部長)	こちらから依頼もあったのではないかというお話でした。コロナ禍においては、市長の放送をしていただきたいという依頼を昨年、一昨年に行ったことは確かにございます。今後の話等もございますので、その辺は内容をどういった形で市の方とケーブルテレビ様で今後行っていけるかという部分を詰めないとなかなか難しい部分もあるかと思います。いったんそこは話をさせていただくということによろしいでしょうか。
戸谷委員	載せると不都合なことはありますか。具体的に不都合なことが市民にとってございますか。
事務局 (企画財政部長)	特に市の方で不都合はございません。ただ、市の方で積極的にこのお願いをして載せていただければ、そういったこともメディアの一つとしてご提供していただけるのは問題ないかなと思います。その辺は少し調整させていただくということによろしいでしょうか。
広瀬会長	本庄市の最上位計画が総合振興計画ですから、この中で本庄市として広報活動の充実をどのように図っていくか、それが市のホームページとか広報ほんじょうを使い、市から直接的に発信するものについて、様々な媒体をとということで記載してあるのが1 ページだと思います。2 ページでは、本庄ケーブルテレビさんとかテレビ埼玉、FMラジオ、こういうものを使いますと具体的に記

	<p>しているということです。本来であれば、他にも何々新聞とか、色々なものを書く必要性も時代によってはあろうかと思えます。ただ、今の本庄市が情報発信するにはこの3つ、プラスアルファとして広報ほんじょうとかホームページを選出しているということでご理解いただければと思いますが、その辺はいかがでしょうか。</p>
戸谷委員	<p>はい、分かりました。では、今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
広瀬会長	<p>ありがとうございました。他にどうですか。</p>
清水委員	<p>一点だけお願いします。3ページの成果指標のところなのですが、高ストレスと判定される職員の割合の値を8%から10%に訂正するというようになっています。前は8.24%だから目標は8%と書いてありました。今回10%に修正するのは現状値が10%より高いという理解でよろしいのか、その辺をお願いします。</p>
広瀬会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局 (総務部長)	<p>3ページの高ストレスと判定される職員の割合について、下に書いている通り目標値を8%から10%に修正した説明ということですが、まず厚生労働省の基準が高ストレス者ということで10%と謳っているのが一点ございます。本市の、例えば令和2年度の調査結果によりますと、高ストレス者が10.4%、令和3年度につきましては11.0%という状況になってございます。そうした中で8%という数値を維持しようとする、高ストレス者を出さないようにするような無理な力がかかったりするというのはよろしくないだろうという話が担当からございまして、実際にこちらについては厚生労働省の基準やここ数年の実情を踏まえて8%から10%に修正をさせていただきました。</p>
清水委員	<p>一点だけお願いします。10.4%とか11%というように増えているということですが、これに対する具体的な対処の方法はお考えになっているのかをお願いします。</p>

事務局 (総務部長)	高ストレス者が増えていることに対する対策でございますが、具体的には令和4年度から始めている事業がございます。5ページに書いてございますが、主な事業一覧の一番下16番目のオンライン個別相談の実施ということで、ここに記載されている通り高ストレスと判定される職員の割合が増加していることを踏まえ、臨床心理士あるいは公認心理師の専門的視点による相談、5月よりオンライン個別相談を始めております。実際に、ストレスによる不調に早めに対応できるような環境づくりということで事業を始めてございます。
広瀬会長	他にございますか。よろしいでしょうか。
古閑委員	9ページの主な事業一覧の3番目で、公衆Wi-Fi環境の整備が削除となっておりますが、何か理由はあるのでしょうか。
事務局 (企画財政部長)	先ほど説明をいたしました、一昨年からのコロナ禍によりまして、国からコロナ対策の交付金が交付されております。本庄市ではこの交付金を使いまして、市内公共施設にWi-Fi環境を整え、密にならない状況で仕事や勉強ができる環境を整備しようということで、公衆Wi-Fi環境整備を実施いたしました。令和2年度におきまして、目標とした整備が終わりましたのでこちらは今回削除させていただきました。
古閑委員	Wi-Fi環境をなくすということではないですね。今あるものは使えるということですね。
事務局 (企画財政部長)	事業名がWi-Fi環境の整備というタイトルで事業名を掲げさせていただいておりましたので、整備が終わりましたので取らせていただくということでございます。
古閑委員	今あるものは使えるのですか。
広瀬会長	必要な場所にはWi-Fiはそのままありますので、そういう意味では必要な場所に設定をしたということでございます。よろしいでしょうか。 他に質疑等ございませんでしょうか。ないようでございますので、報告等をいただくものにつきましては次回の会議でお願いいたします。本案につきましては決定とさせていただきます。よろしいでしょうか。

	<p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは決定とさせていただきます。ここで休憩とさせていただきます、午後4時15分から再開いたします。</p> <p>(休憩)</p> <p>それでは会議を再開いたします。審議事項第3号、総合振興計画序論(素案)について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (企画課課長 補佐)</p>	<p>・第3号 総合振興計画序論(素案)について (資料に基づき説明)</p>
<p>広瀬会長</p>	<p>ただいまの説明に対しまして、ご意見ご質問がございましたらお願いいたします。</p>
<p>内田委員</p>	<p>いくつか絞ってお伺いさせていただきます。まず5ページ、社会状況のエネルギー分野のところ、2段落目「原子力発電事故により発生した」という文言があります。ここを、完全にそうではないとは言えないのですが、エネルギー供給体制の分散というのは、技術の革新によるものと助成金によるものが非常に大きくて、おっしゃるとおり原子力事故によって国が急激に進めたというところはあるのですが、果たして本庄市を取り巻く社会情勢の中で、こういうような気運が高まっているといえるかという部分は、私は書き方に違和感を持っています。どちらかという、社会的な脱炭素であるとか、地球温暖化にあたって我々は何をしなければいけないというところから取組が進んでいるのかなど、やはりこれは世界的な話なので、間違っていないのですがもう少し工夫した書き方というか、現実に沿った書きの方が良いのではないかと思います。そして、ゼロカーボンシティの話が含まれていないので、そういうような社会情勢について、最近本庄市も含めて埼玉県内には宣言している都市がありますので、そういうところはしっかり入れていった方が良いのではないかと思います。</p> <p>8ページの概況と課題のところ、まず一点目は、歴史環境の中ほどですが、「後北条氏」というのは俗称なので、どうしても使いたいならば「いわゆる」とつけていただくか、基本的には</p>

	<p>北条氏自体は自分たちを「後北条氏」と名乗っていないので、あくまでこれは便宜上つけているだけなので、これは市の出すパブリックな文言としては笑われてしまうものかなと思います。</p> <p>また、書き方で気になったのは、塙保己一だけ出身地がついていて、他の諸井恒平とか石川三四郎を入れていただいています。こちらには出身地がついていないので別に保己一だけわざわざ出身地をつけなくても良いのかなと、もしつけるのであればすべて揃えて出身地をつければ良いと思います。</p> <p>18ページ(5)「シティプロモーションの強化」のところ、2行目の輝かしい歴史というのも、嘘ではないと思うのですが、昔はすごかったというだけにしか見えない感じもあるので、地域に誇れる歴史があるとか、違う書き方が良いかなという気がしました。あくまで私の感想です。</p> <p>(6)「環境に配慮した取組」のところ、最初のところでかきかっこのとじが抜けていますので、これはしっかりつけてください。</p> <p>19ページです。(6)「環境に配慮した取組」のところ、公共施設についての言及が全くなく、家庭や事業所においてというのはあるのですが、自分たちはどうなのかというのが全くないのでそれを入れた方が良いのではないかと思います。</p> <p>(7)多様性の保障のところ、LGBTQという記載をしていただいています。これは色々な書き方があってどれにするかというのは非常に悩まれると思いますが、LGBTQ+にしない、あるいはLGBTQ+をつける、といった点で、なぜLGBTQを選んだのか理由があれば教えていただきたいです。</p>
広瀬会長	事務局お願いします。
事務局 (企画課長)	<p>まず初めに5ページ、本庄市を取り巻く社会経済情勢の5番目、東日本大震災における原子力等の文言のところだと思うのですが、ここは本庄市を取り巻く環境ということで、全体の気運というところでの記述となっております。</p> <p>続きまして8ページでございます。こちらにつきまして、「いわゆる」あるいは出身地等につきましては、持ち帰って確認をさせていただきたいと思います。</p>

	<p>続いて18ページでございます。「輝かしい」について、こちらの言葉につきましても再度検討させていただきたいと思ひます。</p> <p>19ページ、公共施設が入っていないということにつきましても、同じように検討させていただきます。</p> <p>最後にLGBTQについても、この文言だけでいいのかということについても、併せて検討させていただきます。</p> <p>検討という言葉が多いのですが、すべて次回でこちらにつきまして回答させていただきます。</p>
内田委員	<p>かぎかつことかは良いのですが、一つだけ検討がなかったのですけれど、5ページの書き方についてももう少し検討していただくというか、今どちらかというとはやはり世界的な脱炭素やSDGsの流れが強く、書いていただいたような「気運があり」というのは、ないことはないと思うのですが、ちょっと昔っぽいというか震災直後という感じがしますので、検討していただければと思います。</p>
事務局 (企画課長)	<p>そのところにつきましても、検討させていただきたいと思ひます。</p>
広瀬会長	<p>あと、ゼロカーボンについてはどうですか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ゼロカーボンにつきましては、まちづくりの主要課題のところでも19ページ(6)の2段落目から「ゼロカーボンシティ実現に向けた」というところで記述がございまして、こちらでご理解いただければと思います。</p>
広瀬会長	<p>他にございせんか。</p>
高橋勉委員	<p>6ページの「まち・ひと・しごと創生の推進」の人口問題ということで、本庄市の人口は非常に縮小しているという大きな課題の中で、実は人口が減っているということを、色々な書物の中で言われています。増えるためにはどうすれば良いかというのに当たって、現実の中ではそういう捉え方を、もう一つの切り口で書かれたらどうかということについて、ふと疑問がわきました。それは、私たちが「自給自足」という言葉を聞いて反芻して、この社会の中で自分のところで食べるものは自分のところで作れるという社会も、そういった切り口も見てみますと、本庄市には肥え</p>

	<p>た肥沃な大地があります。色々な米であり、麦であり、野菜の出荷量が大きいのです。そういうものは、この切り口の中でまちも小さくなり、人も小さくなりどうすればいいかというの、切り口を変えてみたら、もしかしたら生産年齢人口も76歳というの、ここであるいは仕組だけ見たら、新しい仕事というのをなかなか思いつくわけではないのですが、ダブルワークというの、最近も耳にします。遠くでも仕事ができ、二拠点の仕事があれば、ひとつには労働時間、通勤時間を活かせる考え方もできます。リモートワークのおかげで、私たちには時間的に少し余裕が出てきており、そういった面で、新しいビジネスも考えていったら本庄市が元気になれるのではないかと思います。この中では「まち・ひと・しごと」という項目で割ときれいに終わってしまっているものですから、そういった項目を付け加えることができるかということで、「自給自足」という言葉から捉えるということもできるのではないかと思います、質問いたしました。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>6 ページのところでございます。本庄市を取り巻く社会経済情勢というところでの文章となっております。6 「働き方の変化」では、このコロナ禍におきましてサテライトオフィス、オンラインでの会議、ダブルワークといったような多様な働き方が求められている情勢です、ということが書かれております。また、先ほどお話にありました人口減少の状況が書かれておりますが、高橋委員のおっしゃる自給自足というところを、こういったご意見があったということ踏まえながら、計画にご意見を取り入れるかどうか、それも踏まえて計画の方で落とししていければと思っております。</p> <p>このページにつきましては、今の社会情勢の把握というところで考えているところでございます。</p>
<p>高橋勉委員</p>	<p>ありがとうございます。実は、この地は農業という肥沃な土地があるということが財産なのだということ、先ほどの考え方で結構でございます。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。また、農業等のところは経済環境分野で計画を提示させていただきます。ご意見、ありがとうございました。</p>

鳥羽委員	今のご意見は非常に素晴らしいと思って、一言くらい追加したらどうでしょうか。
事務局 (企画課長)	そういったご意見があったということで、経済環境分野のところで練っているところがございますので、お伝えさせていただきます。
広瀬会長	総合戦略の中でそれに沿ってやっていくと思うのですが、色々な意見がございますのでお伝えください。他にございますか。
江原委員	本庄市はSDGsが人口5万人から10万人の中でナンバーワンになったことがあったのです。それがどこに書かれているのかずっと探していたのです。意図的に外したとか、問題がないのでしたら、一行入れておいた方がいいのではないかなと思いました。なかなか一番ということはないので、入れておければ市民の励みになるかと思います。
事務局 (企画課長)	SDGsについては、別の部分で、最初の方に今後本市がどのように進めていくかということを含めて記述していきたいと思えます。ありがとうございます。
江原委員	了解しました。
広瀬会長	SDGs、確か5年前の時にSDGsを入れたらどうかという意見があって、当時の事務局はまだ全国的な話ではないから入れられないということだったのですが、その時の委員の協議の中で入れようということになり、入れたことによって全国一位になったのですよね。
明堂委員	6ページに持続可能な都市の実現とありますが、日本は人口が劇的に減ってしまっているところで、本庄市は頑張っているじゃないですかということですよ。すごく増えているというわけではないですけど、現状維持するだけで大変なのに、外国人も増えて、分析するとどういった政策を打てば増えるのか。聞く所によると早稲田の社あたりが増えているということですが、その辺はどうなのでしょう。
事務局 (企画課長)	最初に前回の宿題で出ささせていただいたところですが、こちらを見ていただくと、社会増減では増えているということになります。自然減はありますが、社会増になっております。理由は明堂

	<p>委員がおっしゃる通り、早稲田の杜、児玉南の区画整理など、やはり基盤の整備が一つ要因としてあると思います。後は、本市が打ち出している施策が功を奏しているのかと思うのですが、その辺は、なかなかどう判断したら良いのかというところがあります。</p>
明堂委員	<p>そうしますと、今の社会増は区画整理がうまくいったとか、早稲田の杜の辺りが増えているという分析、それはそれで納得がいくのですが、自然増、要するに子どもの生まれる数が増えてはいない。これからの政策はそちらも頑張らないと、全部埋まれば終わりかなという感じですよ。区画整理で、今はまだ空き地があるからそこに新しい家ができて、東京などから引っ越してくる人がいるということだと思うのですが、その辺の戦略も考えないと、全部埋まった時に終わるということになります。どうなのでしょう。</p>
事務局 (企画課長)	<p>おっしゃる通りだと思います。出生率はどんどん下がっております。本市の場合1.13だったのでしょうか、だいぶ下がっていますので、この辺をどうしたらいいかというのは今後考えていかなければならないと思います。そこで、まち・ひと・しごと創生総合戦略でしっかり考えていかなければいけないところかなと思います。</p>
広瀬会長	<p>他にございますか。ないようですので、この辺で締めさせていただきます。ご異議なしということで、本案件につきましてはこれで決定とさせていただきます。</p> <p>これで本日の議事は終了となります。進行を事務局にお返ししたいと思います。慎重審議に感謝申し上げます、ありがとうございました。</p>
事務局 (企画課長)	<p>皆様、慎重な審議をありがとうございました。また議長を務めていただきました広瀬会長にお礼申し上げます。</p> <p>続きまして次第4「その他」でございます。今後のスケジュール等につきまして事務局から連絡がございます。</p>

<p>事務局 (企画課課長 補佐)</p>	<p>事務局より三点ご連絡申し上げます。</p> <p>一点目、本日の会議の会議録の案につきましては後日委員の皆様にお送りしますので、お手元に届きましたら内容をご確認いただき、記載内容に修正等がある場合には事務局までご連絡をお願いいたします。</p> <p>二点目、次回審議会ですが、政策大綱6分野のうち経済環境分野と都市基盤文化分野の2分野と、基本構想についての土地利用構想の部分についてご審議をいただく予定でございます。会議の開催は7月8日金曜日、午後1時半からを予定しております。皆様におかれましては引き続きよろしくお願いいいたします。</p> <p>三点目、本日の報酬6,200円については、税額分を差し引きました5,660円をご指定の口座に今月中を目処に振り込みさせていただきます予定です。</p> <p>事務局からの連絡は以上です。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>それでは次第5 閉会にあたり、岩上副会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
<p>岩上副会長</p>	<p>審議委員の皆様には、長時間にわたり熱心にご協議をいただき本当にありがとうございました。これをもちまして、第2回の本庄市の総合振興計画審議会を終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

会長署名 広瀬 伸一